

(2025)

令和7年2月13日(木曜日)

春日井

くらしのニュース

第2, 第4木曜日発行 発行部数 56,700部 制作/市内中日新聞販売店会



世界の動き
身近な話題

中日新聞

数学の理論でビーズ編み

元数学教師
堀部さん

オリジナル作品考案し制作

「数学的ビーズ編み」を考案し、制作している堀部和経さんは、高蔵寺、春日井、春日井東の高校3校で教壇に立った元数学教師です。

数学の理論で規則正しくビーズを組み合わせて生み出される構造物は、ドーナツのような輪やサッカーボールのような球体、連続テトラ、32面体チューブなど色の配色と

相まって、見る側を無限の空間へと引き込みます。堀部さんが制作を始めたのは約30年前。江戸時代の和算の公式集の巻末問題がきっかけでした。設計図は描かず、頭の中で完成図をイメージしながらビーズとテグスをつないでいきます。

昨年末には春日井東高校で作品展を開催。教え

子で同校3年の田中芽衣さんは「実際に見て大きくて迫力がありました」。同じく菊地智香さんは「先生は明るくて楽しく面白い授業でした」と振り返り、作品を鑑賞していました。

来場者に丁寧に制作工程の説明をしながら堀部さんは「5、6、7角形の配置を変化させるだけでいろいろな形ができます」と魅力を話してくれました。

④kazunori@horibe.jp



ビーズ作品と教え子と一緒にの堀部さん